

授業科目名	国際看護学 I		担当教員	◎大野 知代、路 璐、 潮田 千寿子、山田 案美加、 高橋 玲子	科目ナンバリング NM361
必修	開講年次：3年前期	単位：1単位	授業形態：講義15時間		

### 【授業概要】

世界の人々の健康と看護職をグローバルかつ文化的な視点から、国際看護組織の活躍と成果、世界各国のプライマリヘルスケア、保健医療制度、さらに看護職の実態とそれらの問題点と対策について学ぶ。

### 【達成目標】

1. 世界の地理的知識と文化をはじめ、そこに住む人々の生活の実態を理解する。
2. 訪問国の文化、習慣、医療、看護等についての事前準備をグループ間で行い共有学習できる。
3. 海外における看護に必要なコンピテンシーと看護の役割について自己の考えを調整し深められる。
4. 国際人として行動できる具体的な能力、態度、役割等について理解し事前準備ができる。
5. 世界の人々の健康・医療・貧困・教育等についてグローバルな視点から討論し考察できる。

### 【履修条件】

特になし

### 【授業計画】

- |   |                 |
|---|-----------------|
| [01] 国際看護学 I の授業概要のガイダンス<br>訪問国別グループの選択と確認                      | (大野・路・潮田・山田・高橋) |
| [02] 国際的な視点から保健、医療、福祉、看護に関する授業<br>訪問国別によるグループワーク(異文化、習慣、医療、看護等) | (大野・路・潮田・山田・高橋) |
| [03] 国際的な視点から保健、医療、福祉、看護に関する授業<br>訪問国別によるグループワーク(異文化、習慣、医療、看護等) | (大野・路・潮田・山田・高橋) |
| [04] 国際的な視点から保健、医療、福祉、看護に関する授業<br>訪問国別によるグループワーク(海外訪問に必要な事項等)   | (大野・路・潮田・山田・高橋) |
| [05] 国際的な視点から保健、医療、福祉、看護に関する授業<br>訪問国別課題・研修抱負等の発表・評価①           | (大野・路・潮田・山田・高橋) |
| [06] 国際的な視点から保健、医療、福祉、看護に関する授業<br>訪問国別課題・研修抱負等の発表・評価②           | (大野・路・潮田・山田・高橋) |
| [07] 総括：国際看護学 I まとめ   | (大野・路・潮田・山田・高橋) |
| [08] 総括：国際看護学 I まとめ   | (大野・路・潮田・山田・高橋) |

### 【教科書】

特になし

### 【参考書】

- 池上彰 編著(2016). 世界を救う7人の日本人－国際貢献の教科, 朝日新聞出版  
 水巻中正 編著(2019). 令和 はばたく医療ツーリズム－国際貢献と連携の新時代, 中央公論新社  
 葉田甲太(2019). 僕たちはヒーローになれなかった, あさ出版  
 中田正一(1995). 国際協力の新しい風－パワフルじいさん奮闘史, 岩波書店  
 スー・チュラリー・勝井信子・渡辺知花(2012). 異文化理解とヘルスケア, 日本放射線技師会出版会  
 徳永瑞子(2012). アフリカの詩－看護師徳永瑞子の日本へのメッセージ, クオリティケア

### 【評価方法・評価基準】

授業の出欠状況、授業及び課題についての学修態度、個々の学修状況を総合して成績の70%とする。また、総括(課題レポートを含む)等の成績30%も併せて最終評価とする。

### 【講義のために必要な事前・事後学習】

日頃から国際的情報に関心をもち、その情報から得た内容を整理して授業に臨む。(1.5時間)

各授業回から学んだ内容を整理して、国際看護学Ⅱにつなげるよう準備する。(1.5時間)

### 【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅳ.ヘルスプロモーションと予防の実践能力、Ⅴ.国際的視野と地域貢献能力と関連する。

### 【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

学修状況に応じて学生のニーズを把握し、最終評価に到達させる。

### 【備考】

特になし